

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	サニーキッズ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和 7 年   1 0 月 1 日		～	令和 7 年   1 0 月   1 8 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 9 名	(回答者数)	1 1 名
○従業者評価実施期間	令和 7 年   1 0 月 1 日		～	令和 7 年   1 0 月   1 8 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 名	(回答者数)	6 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年   1 1 月 1 日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・1日スタイルの療育を通じた排泄、食事、着替え、午睡等日常生活動作の獲得への取り組みと、預かりニーズに応じた延長支援の実施。	・個別の実態に応じた利用時間を調整し、新規利用者の慣らし期間（短時間利用）を設けたり、支援課題に応じた延長支援を受け入れたり柔軟な対応を行っている。 ・利用児1人1人の変化について気付いたことを、日々のミーティングやケース会議等で共有し全職員で統一した支援を実践している。	・利用児個々の発達段階に応じた支援内容の幅を広げることができるよう、企画を立案する。
2	・給食やおやつ提供と、クッキング等をはじめとした食育活動の充実。	・月に一度、食育やクッキングを行うことで食への興味関心を高める取り組みをしている。 ・個別の実態に応じた視覚教材を作成するなどして食への意欲を高めている。 ・偏食や小食等、個々の課題に応じて食事の量や提供方法を工夫し、楽しく食事ができるよう配慮している。 ・嗜好調査や毎月の食に関する検討会議を通して、利用児の実態に応じた食事を提供できるよう配慮している。	・ご家庭でも取り組める食事支援の提案ができるよう、食事時間の参観機会を設ける。 ・嗜好調査の結果やアセスメントに基づく献立の工夫について、月だよりやホームページ等で発信する。
3	・保護者とのコミュニケーションを重視し、子どもさんの日々の成長や今後の目標設定等について共通認識を図る取り組み。	・その日の体調や情緒面の様子について、毎日確認を行い支援に活かしている。また、状況に応じて個別面談の機会を設け、情報提供や関わり方の提案などの相談援助を行っている。 ・ご家族の希望や子どもさんの実態に応じて、保護者参観や個別面談の機会を設け、発達課題や支援の進捗状況について相互理解を行っている。	・希望する保護者が参加できる季節行事や研修を企画する等して、家族支援の充実を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・きょうだい児支援の充実。	・面談や行事（保護者参観等）を通して、きょうだい児の様子を含めた家庭での困りごとや気になっていることを聞き取り相談援助を行っている。きょうだい児への支援は子どもさん本人のニーズを把握しより充実を図る必要がある。	・きょうだい児が参加しやすい行事の企画。
2	・保護者同士の交流の充実。	・保護者参観を取り入れており多くの参加をいただいているが、より充実できるよう頻度や実施方法には改善の余地がある。	・親子療育や茶話会など、保護者同士の交流を主とした行事の開催の企画。
3	・地域交流の機会提供。	・実習生、インターンシップの受け入れを積極的に行うことで地域との交流機会を設けているが、地域の同年代の他児の交流機会の提供に関しては課題が残る。 ・既に取り入れている夏祭りやコンサート等、社会参加に向けた模擬体験の活動内容の更なる充実を図る必要がある。	・現在行っている実習等の受け入れや、模擬体験となる活動の継続と改善。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	サニーキッズ（児童発達支援）
------	----------------

公表日 令和8年 2月 1日

利用児童数 19名 回収数 11名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1				国の基準に則った広さの活動室を整備しています。 運動やイベントでは、2階の交流サロンや会議室などを活用して十分なスペースを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11					常に、国の基準に則った職員配置をしています。 個別の実態や活動内容に応じて安全かつ丁寧な支援ができるよう、随時調整しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			1		流れ表や絵カードを活用し、見通しの持てる環境の整備を行うことで子どもさんが見通しを持ち、自分でできること（荷物の整理や着替えなど）を増やせるよう配慮しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					子どもさんが心地よく快適に過ごすことができるよう、毎日朝と夕方に清掃や消毒を行っています。 安全美化点検を毎月実施し、清潔で安全な環境を整えております。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11					子どもさんの様子をよく観察し、気付いたことはミーティングやケース会議で職員間の情報共有が行われる体制が整えられており、実態に適した支援を全体で行えるよう努めております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					ホームページにて公表している支援プログラムに則った支援内容を提供しております。 支援内容に変更があった場合には、支援プログラムを更新致します。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					子どもさんご家族1人1人に寄り添った支援が提供できるよう、ニーズや課題を分析して支援計画を作成しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			1		支援内容と項目の関係性が分かりやすくなるように、支援計画の様式に「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を明記しております。説明の際、より分かりやすくお伝えできるよう工夫して参ります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					児童支援計画に沿った支援を提供しております。 計画内容に変更が必要な場合は、都度お声掛けをさせていただき、再度面談を実施して計画の見直しを行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			1		同じ活動の繰り返しにならないよう、個々の課題や利用曜日を考慮し、毎月の活動プログラムを作成しております。 午後を中心に選択活動の機会を設ける等して、子ども達の意思を尊重した活動を提供できるよう配慮しております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	4	2	3	・現状、難しいと思います。	近隣の公園まで散歩をする等して、地域住民や子ども達と交流する機会を設けております。 個々の実態を考慮し併行先の園等との連携を行い後方支援の役割も担っております。今後も、地域活動の必要性を踏まえ、実践可能な交流の機会提供を検討して参ります。

保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1				利用契約時、重要事項説明書等を用いてご説明させていただいております。いつでも内容を確認できるように控えはご家族にお渡しし、事業所の入口にもファイルを設置しております。 変更等があった場合には、変更届を作成し配布を行っております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					児童発達支援計画を示しながら、支援内容を分かりやすく説明するよう心掛けております。今後も、より分かりやすくイメージしやすい計画の作成と説明に努めて参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	1	2	・相談した内容に関してはご指導いただける。	法人内の事業所と連携し、就学に関する保護者研修をご案内させていただいております。また、個別の状況に応じて面談形式で情報提供の機会を設けております。 今後も、相談内容には迅速かつ丁寧に対応することを心掛けて参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11					来所時、降所時の引き継ぎや連絡帳にてその日の体調や変化について情報共有に努めております。また、子どもさんの成長や現在挑戦していることについて、ご家族にお伝えすることを心掛けております。 今後も、気になることや一緒に頑張っていきたいこと等、いつでもお気軽にご相談ください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11					半年ごとの定期的な面談を行っております。 状況に応じて、随時面談を行い助言やご提案ができる体制を整えておりますので、お気軽にご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	1		1		職員研修や指導を行い、子どもさんに寄り添った声掛けや支援の提供を行っております。今後も職員1人1人のスキルアップを通して、より丁寧な支援ができるよう努めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	6	1	・親以外が参加することはなかなか難しいのではないのでしょうか。機会があるのは嬉しいです。	ニーズの変化に伴い、父母の会や保護者会は設けておりません。保護者参観では、保護者の方同士が顔を併せて一緒に活動参加したり活動の様子を見学したりできるよう企画を行っています。今後もニーズに応じた交流の機会を設けられるよう企画を行って参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10					(未記入1件)  苦情受付担当者・解決責任者・第三者委員等の体制を整備し、契約の際にご説明を行っています。また、日々の支援においてもご相談いただいた内容は速やかに職員間で共有し、事業所全体で改善に取り組んでおります。 至らない点もあるかと思いますが、誠心誠意対応致しますので、気になることがありましたらいつでもお気軽にご相談ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9				1	(未記入1件)  子ども達には、個々の実態に応じて言葉だけでなく視覚提示を交えた意思疎通や情報伝達を行っております。 ご家族の皆さまには、日々の連絡帳、来所時の引き継ぎ、電話連絡などを通して意思疎通と情報伝達を行っております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6				4	(未記入1件)  ホームページと事業所入口の掲示にて自己評価の結果を公表しております。 活動概要や行事予定は、れんらくアプリを活用し毎月発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9				1	(未記入1件)  契約時にご確認と署名をいただいた同意書に基づき、適切な情報管理を徹底しております。 職員にも、新人研修を含む職員研修を実施し、個人情報の取扱いについて周知を図っております。



非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		2	(未記入1件)	各種マニュアルを整備し、集約した危機管理マニュアルは契約時に説明し、活動室入口に設置することでいつでもご確認いただけるようになっております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			2	(未記入1件)	避難訓練は火災、地震、水害などを想定した訓練を計画し毎月実施しています。BCPや避難確保計画に基づく訓練は、毎年実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7			3	(未記入1件)	棚や窓枠等にはコーナーガードを取り付けております。また、突発的な飛び出し防止のためベビーゲートを設置する等の安全への配慮を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10				(未記入1件)	小さな怪我であってもご家族に説明し、患部を確認することとしております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9			1	(未記入1件)	今後も、楽しく通っていただける環境を整えて参ります。利用を開始して間もない方もいらっしゃるようですが、少しずつ安心感を持ていただけるよう、1人1人に寄り添った支援に努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8			2	(未記入1件)	子どもさんの成長に合わせて、支援者との関わり、お友達との遊びなどを楽しんでいただけるよう活動内容を工夫しております。今後も、子どもさん本人のニーズを汲み取りながら楽しい環境を整えて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				(未記入1件) ・日々の活動の様子を写真等で見る事ができると嬉しい。	貴重なご意見ありがとうございます。プライバシーや安全面に配慮した上で、活動の様子を見ていただける機会を設けていきたいと思います。今後とも、ご利用に満足していただけるよう誠心誠意取り組んで参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サニーキッズ（児童発達支援）		公表日			令和8年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		身体を動かす活動や季節行事等、必要に応じて放デイの活動室や大会議室等を利用しております。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準に適した職員配置をしています。また、実態や活動内容に応じて随時調整を行う等して質の高い支援が提供できるよう工夫しております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動室に仕切りをしたり視覚提示をしたりすることで、活動の空間と朝の準備や食事をする空間とを理解しやすいように構造化しております。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃に加え、毎月の防災・美化点検を実施しています。また、利用児が降所した後、消毒や掃除を行っております。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別活動室での活動を提供しています。個別活動室の環境は、利用者の実態に応じて定期的に見直しております。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日ミーティングで支援の振り返りと改善について話し合っています。毎月のケース会議では直近の課題を話し合い、翌月改めて振り返りを行うことで、PDCAサイクルに職員が参画しております。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の皆さまにアンケートを配布し、意向を把握しています。ご意見はケース会等で共有し、改善案を検討しております。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月のケース会議や課題検討会議で職員の意見を基に話し合い、業務改善に繋げております。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		定期的に第三者評価を受審し、結果を踏まえ業務改善に繋げております。	直近では、令和7年12月22日に第三者評価を受審致しました。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月、新人研修や職員研修を実施し、職員の知識やスキルの向上に努めています。また、外部の研修にも積極的に参加しております。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		面談を行い、本人や保護者のニーズを把握しながら、個別の実態に応じた支援計画を作成しております。また、適切な計画になっているのか職員で意見を出し合い、専門職の意見も取り入れながら計画の作成を行っております。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		多職種で検討会議を行い、後日会議の内容を周知しております。また、毎月のケース会議で話し合う支援の進捗状況の確認内容も踏まえて話し合いを行っております。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画を作成した際は、職員間で周知を行っております。また、日課計画案を作成する際には、支援計画の内容を踏まえた個別の目標を設定することで、支援計画に沿った支援の実践に繋げております。			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ケース記録やチェックリスト、連絡帳を活用し、子どもさんの様子を記録したりトイレの回数などを記録したりすることで支援に役立てております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		必要な項目が明記された様式を使用することで「児童発達支援の提供すべき支援」の内容に漏れがないように努めております。 複数の職員が作成に関わることで、より具体的な支援内容の作成に繋げております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		翌月の活動プログラムの作成に反映できるよう、毎月のケース会議で直近のプログラムを振り返り改善点について確認しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもさんの利用予定を考慮し、活動に偏りがないように活動プログラムの立案を行っております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもさんの発達状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて作成を行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝ミーティングにて、当日利用予定の利用児を確認しながら職員の動きや、活動内容等を話し合っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日夕方に振り返りのミーティングを行い、子どもさんの様子や活動内容の反省等を確認しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ケース記録の記入の際は、児童支援計画のどの内容に基づいた支援が提供されたか分かるように記録してます。また、記録をもとに支援内容や活動内容等の検証・改善に努めております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に子どもさんと保護者の方と面談を行い、児童支援計画について達成度や満足度等の確認、今後の方向性について確認を行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や担当職員がサービス担当者会議に参加し、情報共有を行っております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各関係機関への訪問や電話連絡等を通して、必要な情報交換ができる体制作りを行っております。事業所への見学等も受け入れ、情報共有に努めております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、併行先への訪問し状況を確認したり、サニーキッズでの様子を見学に来ていただいたりして支援内容の相互理解を図っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		支援の過程や現状の発達段階を整理した移行支援シートを作成し、情報共有を行っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	-		非該当	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-		非該当	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-		非該当	
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		地域の児童発達支援センターが実施する研修会へ参加しており、情報交換会等を通して助言をいただいております。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				



	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	地域の公園まで散歩をする活動等を通して、地域住民や子どもさんと交流する機会を設けております。また、子どもさんが併行通園する園等と連携し、後方支援の役割を担っております。	地域交流の方法について、個々のニーズを踏まえて実践可能なより良い方法を検討して参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		その日の子どもさんの様子や課題について、連絡帳や降所の際に情報共有を行っております。また、必要に応じて家族支援の面談や参観の声かけを行い、子どもさんの発達の状況や課題について共通理解を図っております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	同法人の他事業所で行う研修に参加できるように連携する等して、保護者の研修機会の提供に努めております。	ニーズに応じた保護者研修を実施できるよう、企画・計画を工夫して参ります。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に児童発達支援管理責任者より説明を行っております。重要事項説明書は、いつでも閲覧できるよう事業所の入口に設置しております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもさんや保護者の方と面談を実施しております。子どもさんの実態と保護者のニーズ等を踏まえ、本人本位の児童支援計画を作成できるよう心掛けております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援計画をお渡しする際に、支援内容の説明を行い、同意と署名をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		連絡帳や送迎時のやり取りを通して、ご家庭の様子など聞き取りを行っています。また、必要に応じて関係機関と交えて面談をする機会を設けております。	
	39	保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者参観期間を設け、保護者同士が会って話ができる機会を設けております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談等があった際は、ミーティングやケース会議等で情報共有を行い、迅速かつ丁寧に保護者へ返答ができるように努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		法人の広報誌やホームページ、毎月配信しているサニーキッズだよりにて、活動の様子を配信しています。また、行事予定については、れんらくアプリで情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きのキャビネットに個人情報に関する書類を保管しております。また、個人情報管理に対するマニュアルを整備し職員研修を行っております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもさんの発達に応じて、写真カードや絵カード等視覚提示をしながら声かけをしています。ジェスチャーでの意思表示がある場合は、ご家族や関係機関と情報共有を行う等の配慮を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		会議室の開放等を行い、地域住民の方が来訪しやすい環境を整えております。	地域の研修への参加やホームページ等を活用し、地域への情報発信に努めて参ります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整理し、廊下に掲示しております。また、BCPや避難確保計画に基づいた訓練や研修を実施し、緊急時の対応について職員同士で確認しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定しております。職員研修や毎月の避難訓練にて、非常災害が発生した際の実践訓練を行っています。	

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時や面談時に子どもさんの体調や服薬の有無を確認し、職員間で共有しております。必要に応じて、個別の症状に応じた緊急時マニュアルを作成し保護者と職員で確認しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		利用契約時に保護者へ確認を行い、医師の指示書に基づく対応を可能な範囲で行っております。また、希望があった場合にはご家庭から食事やおやつを持参についても対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練を実施しております。また月1回の防災・美化点検を実施し、安全管理を行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		利用契約時や面談時に保護者の方へ緊急連絡先の確認や取組内容についての説明を行っております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を作成し、朝礼や職員会議にて全職員で共有しております。また、集計・分析し、対応策の検討・周知を行っております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内に人権擁護委員会を設置し、虐待防止委員会（身体拘束適正化検討委員会）を実施しております。また、外部講師による権利擁護の研修等で虐待防止について学ぶ機会を設けております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		利用契約時、やむを得ず身体拘束を行う場合の具体的な状況について説明を行っております。現在、身体拘束を行う事例はありませんが、やむを得ず身体拘束を行う際には委員会等の組織で検討を行い、子どもさんや保護者に対して十分に説明、了承を得た上で児童支援計画に記載致します。	